

菩提樹池と周辺緑地保全作業 シュロの除去作業 結果報告

目的：シュロは当該地の植生ではなく繁殖力も旺盛なため、自生している野生の植物を駆逐し生態系を破壊する恐れが高いため、良好な状態の自然環境を保全するために除去作業を行います。

開催日時：平成23年3月5日（土）午前9時～11時30分

実施場所：菩提樹池下流の湿地

参集範囲：菩提樹池と周辺の緑を守る協定に基づく団体

参加人数：33名

内容：第4回打合せでシュロの除去が最優先課題となりました。

【大きなシュロ】

補助員をつけた上で、チェーンソーで伐倒

【小さなシュロ】

ナタ鎌やスコップで除去

【事前作業】

周辺はアズマネザサに覆われているので、生物に配慮した、伐採したシュロの運搬に必要な進入搬出路を設けます。

成果：湿地のシュロの除去は約80%完了しました。繁茂していたシュロとアズマネザサの一部が除去されたので、ジョウビタキなどの明るい場所を好む野鳥が見られるようになりました。アズマネザサを刈った場所も帯状に残しているので、藪を好む生物への影響も少なく済むことと思われます。

課題：湿地西側にはシュロがまだ繁茂しており、これからモウソウチクが湿地内に侵入するので、生物の状況を考慮に入れながら除去作業を行う必要があります。投棄されたテレビ、便器、タイヤ等が見つかったので、不法投棄を防ぐ手立てをとる必要があります。



除去したシュロの葉



アズマネザサの部分除去



シュロの除去のビフォーアフター